



やさしく
かしこく
たくましく

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

あけまして おめでとうございませす。

今年もよろしくお願いいたします。



平成30年が幕を明けました。皆様、あけましておめでとうございます。
好天に恵まれたお正月、皆様ご家族お揃いでゆっくりと過ごされたことでしょう。
新しい30年の始まりですが、同時に29年度の残りはわずか3ヶ月となります。
例年のことですが、この3ヶ月は本当にあっという間に通り過ぎてしまいます。

この時期に関して、昨年度「ゆずりはの心」と題して、この学校便りに書かせていただきました。

正月飾りにも使われる「ゆずりは」という樹木が「新しい葉がある程度まで成長すると古い葉と新しい葉が交代する」ことから、この時期は特に6年生と5年生にとっては「リーダーとしての役割」や「伝統」「誇り」「魂」といったものをゆずり、ゆずられ引き継ぐ期間、その為の備えと学びの期間であるという内容でした。またどの学年の子どもにとっても、現在の学年のまとめの

時期であると共に、次の学年への大切な準備期間です。そのことを、しっかりと意識させ、目的、目標を明確にさせながら、一年のまとめ、ホップ、ステップに続く、大きなジャンプの期間となるよう取り組んでいきます。

次の学年への準備 = **今やるべきことを、確実に しっかりやること!**



始業式では、3学期について、まとめと共に「次の学年への準備をする時です。『準備』それは、「今の学年で、今やるべきことに、しっかり取り組むこと」という話をしました。

積み木を積み上げていく時、一番下から、一段一段、順番に積み上げていく必要があります。下の段なくして上の段はありえません。また、下の段が広く大きいほど、上の段が安定します。子ども達の学びも同様です。

学習も生活も、その学年の、毎日、その時、その瞬間を大切に、やるべきことに真剣に集中して取り組み、固めていきます。そしてその上に、一つ一つ丁寧に、積み上げ、身に付けていくことが欠かせません。

3学期は短く、実質、登校するのは6年生(48日)、1~5年生(51日)。だからこそ、真剣に集中し、これまでの学びを確実にするとともに、課題は改善を図って身に付いた力を更に伸ばし、次年度に備えたいものです。

当たり前のことを 当たり前に行えるように!

「おはよう」や「さようなら」のあいさつ。早寝・早起き。朝ご飯を食べる。学習用具の準備。
決められた時刻を守る。(登校7時50分までに。下校は4時20分までに)交通ルールを守る。
学校の決まりを守る。学校で使わないものは持ってこない。通学帽をかぶる。室内では静かに過ごす・・等々。
これらはどれも「当たり前」のこと。でも、できていないことも多々あるでしょう。一つ一つはなんてことはないことばかりです。だからこそ、今、当たり前に行えていることは継続し、できていないことは意識して、「当たり前のことを当たり前に行える」ように、継続し、日々積み重ねて指導していきます。